

上智大学キリスト教文化研究所 聖書研究部門研究活動について (2022.3 更新)

本研究所の研究プロジェクトとして、旧約聖書物語テキストの共時的解釈法に関する研究をおこなっています  
研究員は上智大学と関西学院大学、立教大学に所属し、大学間交流にも資するものです

《研究プロジェクトの概略》

■プロジェクト名：上智大学キリスト教文化研究所プロジェクト「ヘブライ語聖書物語テキスト共同研究」

■正式発足：2020年10月

■共同研究構成

主催者： 月本昭男（上智大学神学部教授、キリスト教文化研究所員）

共同研究員：水野隆一（関西学院大学神学部教授）

佐久間勤（上智大学神学部教授、キリスト教文化研究所員）

岩寄大悟（公益財団法人古代オリエント博物館研究部共同研究員、立教大学兼任講師）

石原良明（上智大学神学部非常勤講師）

■研究会実績

（正式発足以前からの通算回数）

2019年3月12日 第一回研究会「洪水後のノア」物語（創世記9章18～29節）の分析

2020年8月27日 第二回研究会「洪水物語の序章としてのネフィリムのエピソード」（創世記6章1～4節）の分析

2021年2月25日 第三回研究会「バベルの塔」物語（創世記11章1～9節）の分析

※2020年度以降、当面年二回の研究会をオンラインミーティングにより実施する予定です